

< 目指せ！1等米比率90%以上！！ >

コシヒカリの播種は4月25日頃から！ 田植えは5月15日頃を中心に

☆育苗計画の目安 ~育苗日数(播種から田植日まで)は20日間以内を目安に~

消毒	浸種	播種	田植日	出穂期(目安)
4/7	4/8頃	4/19頃	5/10	8/1頃
4/15	4/16頃	4/25頃	5/15	8/4頃
4/23	4/24頃	5/2頃	5/20	8/7頃

育苗日数が長くなり、老化苗を移植すると初期の分けつが減少し、収量に影響します。育苗期間が長くなり過ぎないように注意しましょう！

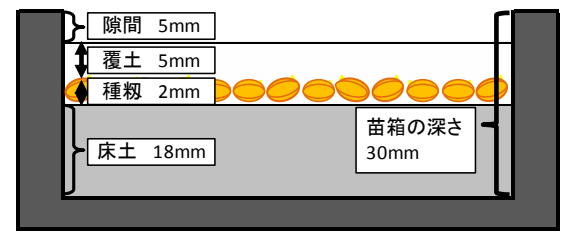
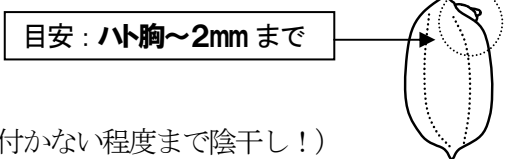
☆育苗のスケジュールと作業内容

作業	温度管理	作業管理のポイント
4/15 ↓ 4/16 ↓ 4/24 ↓ 4/25 ↓ 4/27 ↓ 4/29 ↓ 5/15	比重選 種子消毒 浸種 催芽 育苗器で 28~30℃ 20~24時間 播種 出芽 搬出緑化 硬化 田植え	<p>① 比重選で種籾を厳選 ~病気や発芽不揃いをしっかり予防~ ・硫安による発芽障害を防ぐため、比重選後の種籾はすぐに水洗いを行う</p> <p>② 種子消毒を徹底 ・種子消毒は、モミガードC水和剤200倍液で24時間浸漬(水温10~15℃を維持！)</p> <p>③ 浸種は10~15℃の水温を確保 積算温度(水温×日数)100℃の目安 ・2日に1回は水を交換し、酸素不足を防ぐ ・後半は必ず芽の動きを確認し、動きがあれば浸種を終了する</p> <p>④ 芽の長さをこまめにチェック ・均一に催芽するために、1日2~3回、袋を反転させる ・均一に播種するために、種籾の水切り(脱水)は十分に行う(籾が手に付かない程度まで陰干し！)</p> <p>⑤ 播種量は乾籾で箱当たり120g(催芽籾150g) 厚播きは苗質が悪くなる!!</p> <p>⑥ 育苗器の温度をこまめにチェック (サーモスタットの使用前点検は必ず行う！)</p> <p>⑦ 芽が1cm程度に揃ったら搬出 ・搬出時には、かん水! ・緑化後、速やかに被覆資材をはずす ・日差しがある日は、朝から換気!</p> <p>⑧ かん水は朝にたっぷりと行い、日中は床土の乾きに応じて行う ・田植えの7日前からは、昼夜ともに換気し、十分外気に慣らす</p>

【比重液の作り方(水10ℓの場合)】

	比重	硫安
うるち	1.13	2.5kg
糯・酒米	1.08	1.5kg

水温が上がり過ぎないように、置き場に注意(低温にも注意！)



◎春の土づくり ~ 収量・品質の向上は、まず土づくりから ~

ケイ酸質資材及び有機物の施用

・ケイ酸には、登熟歩合の向上、割籾発生軽減の効果があります。耕起前にケイ酸質資材を施用しましょう(表1)。
・稲体の活力維持のため、「発酵けいふん」などの有機物を施用して地力の維持・向上を図りましょう(表2)。

深耕による作土層の拡大

・作土層を深くすると、根圏が広がり、深く伸びた根が収穫まで稲の活力を維持し、収量・品質が向上します。
・耕起は、トラクタの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くして、作土の深さを15cm以上(現状より3cm程度深くする)確保しましょう。

表1 主なケイ酸質資材施用の目安

資材名	施用量(10a当たり)
大地の祭りs	100kg
シンキョーライトP	60kg
スーパーけいさん鉄	60~100kg

表2 堆肥施用の目安(春施用)

堆肥名	施用量(10a当たり)
発酵けいふん	75~100kg

注) 春施用する場合は、基肥チッソ量を1~2kg/10a程度減肥する。

令和3年 春の農作業安全運動(4/1~5/31)

~「ヒヤリ」「ハッと」した経験を、農作業事故の未然防止に役立てましょう!~